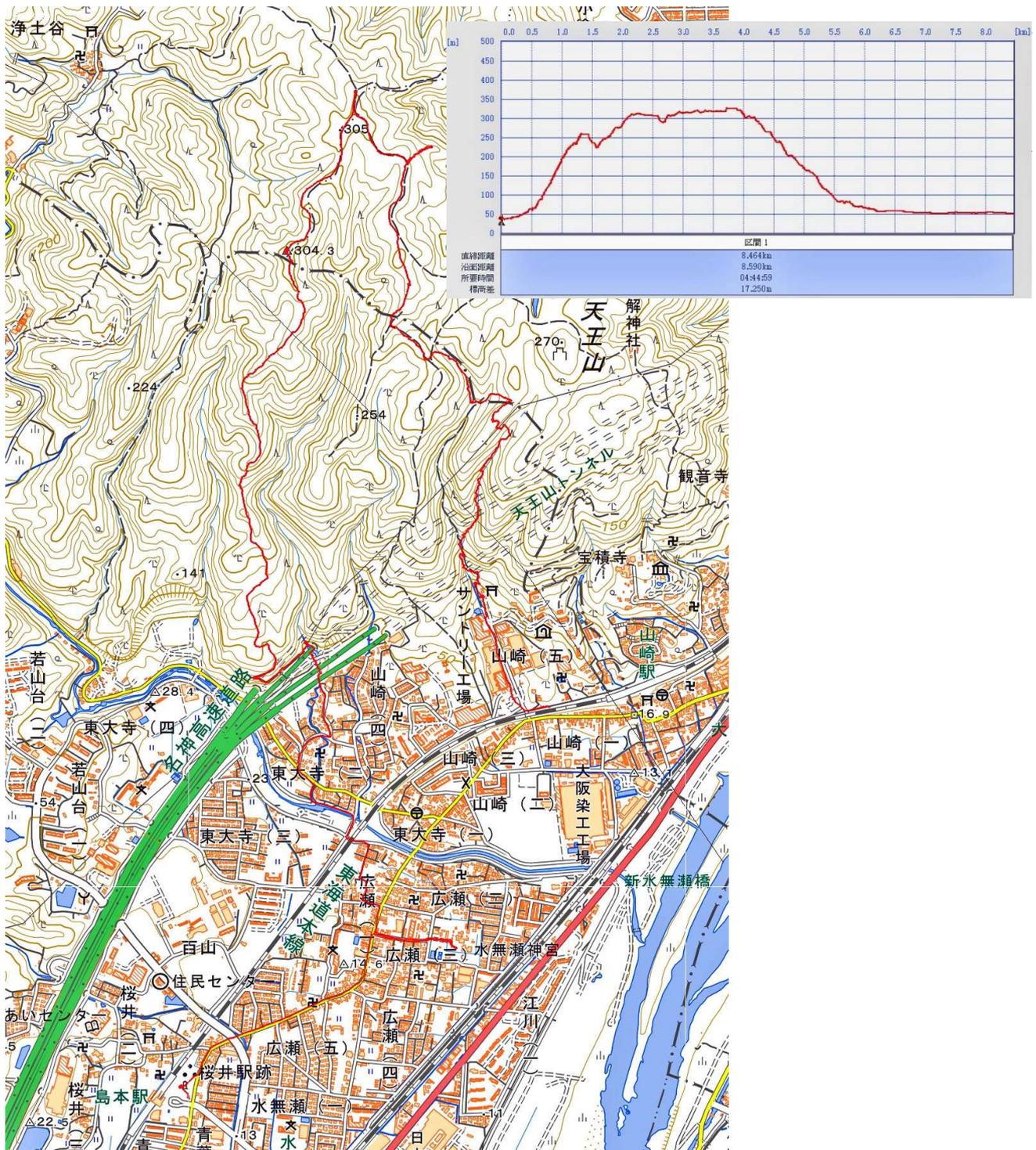


2020年10月12日(月)晴 北摂「十方山」山の会例会主宰
 参加者 L: 廣田富三、玉井ハル子、樋口絹子、斎藤美重子、
 大島富美子、中川康一郎 計6名

コース距離: 8.6 km、 所要時間: 4時間38分(休憩含む)

コースタイム: 山崎駅(9:25)→(9:36)椎尾神社(9:43)→
 (10:48)サントリー山→(10:58)本道→(11:04)奥の山展望広場→
 (11:18)分岐休憩所→(11:39)十方山【食事休憩】(12:12)→
 (12:55)水無瀬の滝→(13:28)水無瀬神宮→(13:50)桜井駅跡(14:13)

* 山行軌跡 及び 行程グラフ



山行記： 9時25分山崎駅から歩き出し駐輪場前を通り西国街道に出たところでマンボウを通り抜けてJR線路を越えてサントリー工場を通り椎尾神社に辿り着く。

椎尾神社を通り過ぎ登山道に入って行く、川筋をロープを頼りに歩くところもありスリリングな登山道を登って行く。

川筋を過ぎると左の登り道に入り送電線を潜ってからは府境の尾根筋を歩きサントリー山に達する、ここはサントリー工場の従事者が作ったベンチがあり一休みする。

ここから200m程進み天王山登山道の本通りにでて奥の山展望広場に行くが灌木が生い茂り眺望できない、玉掛のパイプに登ると少しは眺望が出来る。

先に進み分岐休憩所で小休止する、時間が早いので食事は十方山で摂ることにして十方山に向かい三等三角点（点名：天王）に、ここが十方山の山頂だ。

食事後ここから下山して水無瀬の滝を目指して降りて行くが、倒木が多く何度も潜り抜けて通って行く尾根筋で去年とその前年の台風で倒れたものである。

下山道を半分ほど下ると倒木もなくなり快調に下って行けるようになった、灌木帯から竹林に代わって行き下山口が近くなってくる、竹林を抜けると前方の眺望が開けて観ることが出来る。

名神高速道路の脇道を進んで行くと水無瀬の滝が見られる、天王山の伏流水で高さは20mの滝が見られる。

ここから西国街道を目指して歩いていき水無瀬神宮に立ち寄り、後鳥羽天皇が都から足繁く通われ「わがふるさと」と思し召された水無瀬の離宮跡でここには日本百名水が湧き出している。

水無瀬神宮を後にまた西国街道に戻り島本駅を目指して歩いていき、桜井の駅跡に立ち寄り休息後ここで解散する。



サントリー山崎蒸溜所



椎尾神社の入り口



丸太の橋を渡る



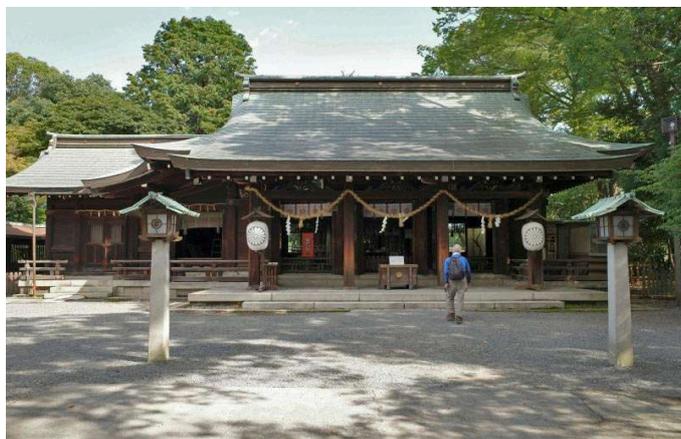
奥の山展望広場
灌木が生い茂り玉掛のパイプに登て



十方山で記念ショット



水無瀬神宮の入り口



御本殿（提灯には菊の御紋）